

第4回タウンミーティング（地域自治会等意見交換会議） 議事要旨	
日時：平成30年7月17日（火）午後7時～午後8時30分	
場所：青少年クリエイティブセンター 青少年会館視聴覚室	
対象中学校区：第二中学校（連合自治会区域：岸部）	
参加者数：8名	

会議冒頭、市長より中核市への移行等、吹田の現状について説明をした後、自由な意見交換を行った。	
市民意見・市の回答	
岸部	この地域は、駐車禁止除外指定地域であるとして、警察が違法駐車を取り締まってくれない。自宅の前に車を止められて、自分の車が長時間入庫できなかったこともある。
市長	土木部長がこの場に来ているので、詳しい場所を告げた上で、相談していただきたい。
岸部	新しくできた公園で、利用のルールを守らない人がときどきいるので、地域で見回りを注意している。その際、禁止事項を書いた看板が、もっと大きくなってわかりやすかったら言いやすいと思う。
市長	花火など危険な遊びとして明確に禁止しているものもあれば、ボール遊びのように禁止していないものもあり、表示の仕方は難しい。花火などについては季節を限定して表示する方法も考えられる。
岸部	1 歩道で、雨水が浸透するような舗装になっている箇所が地域にあるが、劣化して表面がデコボコになって歩きにくい。高齢者などはよくつまずいている。市内でほかにもこのような舗装の箇所はあるのではないかと。 2 新しくできた健都の公園には、利用者があちこちから来ると思われるので、駐車場や駐輪場の整備が必要ではないかと。
市長	1 当時のやり方で、多分要望もあって採用した舗装だと思う。土木部が場所を把握していると思うので、舗装のやり直しについて検討する。 2 北千里や中の島など大規模公園では駐車場を用意している。健都の中の公園も、魅力的な設備が多いので、利用者が多くなれば検討する必要も出てくる。
岸部	大阪学院大学が資格試験の会場になる日があるが、大勢の人が道にあふれ返って歩くので、地域の高齢者が歩けない。市から適切に指導していただきたい。
市長	大阪学院大学と吹田市は定期的に会議をしているので、学生や受験生に歩き方のマナーを指導することや、通行路対策、それに時間を集中させないようにするなど、申し入れる。
岸部	1 地震が起きたら、小学校だけでなくこのクリエイティブセンターなどに避難して来る人もいるかもしれないが、職員がいない時間帯でも対応できるのか。 2 要支援者の名簿を持っている民生・児童委員が全員を回りきれない場合、地域の元気な高齢者の力を借りる仕組みも必要ではないかと。

市長	<p>1 訓練時には大きな被害を想定するが、今回の大阪府北部地震における吹田市民の避難者は少なく、どこまでの対応をするべきか皆迷っていた。発災直後は、市役所も混乱しているので、地域である程度自主的に判断していただきたい。</p> <p>2 民生・児童委員も要支援者の情報を明かしてよいのか迷ったと思う。今回、市の責任でオープンにする指示ができたのではないかとこの反省はある。</p>
岸部	<p>1 今回の地震の後、地域を見回ったが、神社の鳥居や灯籠も倒れていた。</p> <p>2 日ごろから防災訓練もして、隣近所普段から仲良くして連絡を取り合えるようにと言われていた。3日間は自分たちで何とかしなければいけないことを、今回あらためて感じた。</p>
市長	<p>1 ブロック塀だけでなくほかにも危険な物があるので、総点検をしている。私有地でも対処できるように、条例もつくらないといけない。</p> <p>2 こういうときには隣近所のつながりが役立つ。これから新しい人を引き込むには、岸部でもよく取り組んでいる祭りと餅つきがよいきっかけになる。</p>
岸部	<p>岸部南の阪急電車を越える歩道橋がよく揺れて危なかったが、府の土木部局の人によると、道路の立体交差化に合わせて歩道橋も架け替えてくれるらしい。</p>
市長	<p>十三高槻線の工事にあわせて、歩道も整備される。府の土木部局と吹田市との連携は強く、どんどん事業が進んでいる。千里丘駅周辺も摂津市と連携して整備する。ほかにも幾つかある吹田市内の交通のネックも、ここ10年で改善できるように進めている。期待していただきたい。</p>